

横浜南地区交通安全高校生大会 講演内容

発表校：釜利谷高等学校、横浜国際高等学校、柏陽高等学校、横浜栄高等学校

交通安全標語 「 交通事故 事故の責任 自己責任 」

1 はじめに

令和7年11月20日に横浜南地区交通安全高校生大会を開催しました。大会を実施するにあたり、6月17日に担当者、7月10日と9月日に生徒の実行委員を招集し、会議をもちました。その会議で、事前に募集していた交通安全標語と交通安全ポスターを選出しました。

標語の最優秀賞は横浜南陵高等学校の『交通事故の責任 事故責任』が受賞しました。

ポスターは横浜氷取沢高等学校が受賞しました。受賞した作品が右の図です。



2 交通安全高校生大会

・開会のことば

生徒実行委員長（釜利谷高等学校）

・主催者代表挨拶

交通安全実行委員会 委員長 金子 博暢

・来賓挨拶

高等学校安全振興会 理事長 中野 真衣子

・企画発表

釜利谷高等学校、横浜国際高等学校
柏陽高等学校、横浜栄高等学校

・表彰

・講評

神奈川県金沢警察署

交通課 係長

警部補 武田 貴

・閉会のことば

生徒実行副委員長
（釜利谷高等学校）



3 発表内容

(i) 釜利谷高等学校

『釜利谷高校付近の危険な場所』について、事故が起きやすい場所や最寄り駅からの通学路を紹介し、道路標識や交通マナーなどの解説を交えて発表しました。



(ii) 横浜国際高等学校

『自転車の正しい乗り方・新しいルール』について、動画に出演している生徒や発表者が英語で発表しました。二次元コードを利用した観客参加型クイズで交通安全への注意を促しました。



(iii) 柏陽高等学校

『柏陽高校付近の交通安全』について、学校前の交差点や通学路に潜む危険を紹介しました。スクランブル交差点とその他の交差点の違いについて詳しく解説しました。自転車の危険運転について、スライド資料やクイズを利用して注意喚起しました。



(iv) 横浜栄高等学校

『身近に潜む自転車の危険運転・新たな反則金』について、横浜栄高校の生徒が動画による注意喚起をしました。高校生が日常的にしてしまいがちな交通違反をテーマにして、自転車の反則金について紹介しました。

